

# CHUOH TRY+ANGLE

知っ得通信

2013年9月20日発行 編集・発行：中央教育研究所(株) 〒732-0811 広島市南区段原2-15-5 <http://www.chuoh-kyouiku.co.jp/>



中土井鉄信の「地域一番の繁盛塾になるための最強法則」 vol.19

## < 冬期講習の設計! >

読者の皆さん、夏期講習お疲れ様でした。今年の夏期講習は、どんな講習でしたか？

私どもMBAが、直接訪問して経営指導をしている顧問先の今年の夏期講習のテーマは勉強!でした。

夏休み中に、①英単語マラソン ②漢字マラソン ③計算マラソンと称して、入試頻出の知識を完全に覚えきるということを取り組みをしていました。各塾の工夫には、大きな格差はありましたが、ほとんどの塾で、大成功でした。この冬も学習企画を充実させるようにしていきたいと思っています。

今年の夏期講習ですが、MBAで顧問先のために作ったチラシの反響率は、単独校舎で、約 5,000 部に 1 件でした。多店舗展開している顧問先では、折込エリアによって、校舎が複数校舎ある場合もあるので、その分効率が良い、約 3,500 部に 1 件でした。その他に、HP から、紹介からというように、問い合わせがあるので、そのような問い合わせも含め複合的に考えると、チラシの折込 2,000 件～4,000 件で 1 件の問い合わせになっています。

貴塾の今年の夏期講習宣伝チャンネルの反響率は、どのくらいだったでしょうか。この総括が、冬期講習の宣伝計画を考える上で、非常に重要になってきます。ぜひ、夏期講習の問い合わせの件数、そして、その問い合わせから体験授業へ、そして、参加へというゲット率を出して冬期講習に備えてください。

さて、今回は、冬期講習の設計について書きたいと思っています。

コース設計というと、どんなことを皆さんは思い浮かべますか? 「めんどくさい!」なんて感じるかもしれませ

んが、そんなにめんどうなことではありません。

まず、12月の学校の終業日と来年の始業日を調べることから始めましょう。今までに分かっている終業日と始業日は、以下の通りです。早い順に並べます。

<b>終業日</b>
1. 12月20日 (驚くほど早い地域がありますね)
2. 12月24日 (この日が終業式なら設計しやすいですね)
3. 12月25日 (東京や横浜はこの日が多いようです)
<b>始業日</b>
1. 1月6日 (驚くほど早い!)
2. 1月7日

終業日や始業日を調べるのは、一般生の講習参加意欲を考慮するためです。講習は、集客イベントです。ですから、7月の在籍と比較して、9月に大幅に増えていて当然なのです。冬期講習も集客イベントですから中学3年生以外は、集客のための日程を組むことです。そのために、終業日と始業日を調べて、講習参加を阻害するような日程を組まないようにするのです。

冬期講習の日程は、上記の日程を考慮するなら、

①12月24日～29日	1月4日～6日	全9日
②12月25日～29日	1月3日～6日	全9日
③12月26日～30日	1月3日～6日	全9日

この3つの日程のバリエーションではないかと思います。

この他に正月特訓をどう置くか、どうするかを考えることも必要だと思います。

集団指導の塾の設計では、その他に、講習前ガイド

ンスの日程と講習後のフォローをする日程を決定して、この作業は終わります。

個別指導の塾の設計では、この日程で、想定コマの消化が可能ならこの作業は終了ですが、消化が不可能なら、内規としていつから講習コマの消化をするための期間を考えます。例えば、在籍生だけは、12月21日から講習授業をスタートするというように・・・。

日程が決定したら、詳細を決めます。集団指導の塾と個別指導の塾とに分けてお伝えします。

集団指導の塾では、「1時限の分数」と「各学年の1日の授業コマ数」と「日数」を決定します。小学生(非受験)の1時限と中学生の1時限の分数をどうするか、時間割を考えながら決定してください。

受験生であれば、実践演習時間の確保のために、ある程度長い方が良いでしょう。しかし、中1・2であれば、部活を考慮して(夏休みほどではないにしろ)夕方からスタートするとして、回転率を確保し複数教科を指導できるように、1時限を通常授業と同じ程度の分数にした方が良いでしょう。更に日程も、中3生よりは、短くするべきです。通いやすい日程・時間帯・拘束時間が重要なのです。「中1・2のコース設計は、集客するためにやるのだ」という意識が大切です。

小学生(非受験)は、すべての学年が集客対象ですから、工夫をしてください。特に、小6生は、数多く集めたい学年です。重すぎず、軽すぎず、魅力ある授業数、教科数を考えてください。

個別指導の塾の場合は、1日の時限数を決定します。これが決まれば、冬期講習の最大売り上げが決定します。仮に、1日7時限で、全9日間の冬期講習ならば、あとは教室の席数で最大売り上げが計算できます。たとえば、教室の席数が、10席ならば、7時限×9日×10席=630コマが冬期講習の最大売上です。これを昨年と比較して、日数や時限数を工夫して決めます。また、受験生にどのくらい授業をとらせるかを考えます。もし、日程内でコマが入りきらないようであれば、内規として早めに

冬期講習をスタートするようにすればよいのです。

私のつたない文章では、上手く伝えられなかったかもしれませんが、以上の点に気を付けて設計を行ってください。特に「講習は、集客イベント」ということを忘れないようにしてください。勿論、中学3年生やそのほかの受験生にとっては、最後の仕上げの期間です。教務的なシナリオをしっかりと描いて、受験生にとって意味ある講習にすることも忘れないようにしてください。

**【あとがき】**

今回、冬期講習の設計についてお伝えしました。冬期講習の集客は、来年度の集客に大きな影響がでます。そして、冬期講習の集客を成功させるためにも9月から12月までの取り組みは重要です。

集客のプライオリティーは、①中1②小6③中2or小5です。このプライオリティーに沿った業務計画を作ってみてください。MBAでは、貴塾の集客活動のバックアップとして「入塾率アップ実現!入会面談・体験授業セミナー」を開催致します。

詳しくは、下記のホームページをチェックしてください。

↓ ↓ ↓

<http://www.management-brain.com/2013/>

電話 045-651-6922 (10:00 ~ 19:00)

e-mail: mailadm@management-brain.co.jp



みなさんは、『ガリレオ』というテレビドラマを見たことがありますか。または、東野圭吾さんの推理小説『ガリレオシリーズ』の原作を読んだことがありますか。テレビドラマは、福山雅治さんが主演し、2013年4月から6月にかけて第2シリーズが放送されました。

福山雅治さんが演じる湯川学は、頭脳明晰な物理学者で、自分の研究室にもちこまれた事件に興味を示したときの口癖は、「実に面白い」「実に興味深い」。「すべての事象には必ず理由がある」という信念の持ち主です。

私は物理学者ではないので、「すべての事象には必ず理由がある」かどうかはわかりません。それに、福山雅治さんが演じる湯川学も、すべてが論理的であるとは言っていません。たとえば、「人間の感情は非論理的である」と述べています。そして、受験の世界に目を遣ると、「非論理的な問題は出題できない」という暗黙のルールがあります。なぜならば、非論理的な問題は採点できないからです。採点できない問題は出題できない。言われてみれば、当然のことです。

私国立中学入試や高校入試、大学入試など、いわゆる一般的な入試において、受験生の感情や思想、意見そのものが点数化されることはなく、まして、そのことが合否を左右するなんてことには、絶対になりません。

国語の読解問題一つとってみても、「次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい」という一文がある以上、問われているのは「筆者の意見の読み取り」であって、受験生の意見そのものではありません。極端な例を挙げれば、作文問題において、「友達なんて不要だ」と主張しても、採点者がその意見の可否を判断することはありません（あくまで原則論ですが）。ここでの主な採点ポイントは、「友達不要」という意見に対して、どれだけの人が納得できるかという点です。つまり、問われているのは説得力であり、論理です。

ある受験生が、「友達なんていない。なぜなら、…だからだ。実際に、私はこういう経験をした。ほら、友達なんていないっていえるでしょう。みんなも納得できるでしょう。」という作文を書いたとします。一般的な採点ポイントは、原稿用紙の使い方が正しいか、文章が文法的に誤りがないか、論理が一貫しているか、などにはじまり、最後の最後で、「文章に説得力があるか」という加点ポイントがきます。現に、弊社が主催する公立中高一貫校対策一貫模試・首都圏一貫模試では、「字数」「主張の有無」「根拠の明示」「具体例の記述」「表記」の5つを主たる採点項目にしており、受験生の意見そのものに優劣をつけるような採点は一切おこなっていません。つまり、「友達なんていない」という主張さえ書かれていれば、内容の如何を問わず加点される。これが現実です。

受験指導の現場では、多くの場合、「道徳に反することは書くべきではない」という指導がなされています。コンビニエンスストアのアイスクリーム用陳列ケースに入って写真を撮り、それをSNSなどで拡散させることに躊躇しない人たちがいる現状では、そういった指導は必要でしょう。しかし、本来、受験生の意見そのものに可否や優劣はつけないというのが原則です。東京都立高校一般入試の作文問題は、「道徳的なことは一切問わない」という姿勢を鮮明にした問題を毎年出題し続けています。一方、埼玉県立高校一般入試の作文問題は、「よい子ちゃんであることを求める」問題が目立ちます。

少し話が逸れましたが、論述問題が多数をしめる公立中高一貫校入試において、「なぜ?」という問いに答える問題を論理的な問題と名づけるとすれば、公立中高一貫校が出題する適性検査問題は、すべて論理的な問題という括りに入れることができます。少なくとも、受験生の感情や思想、意見を問う問題は出題されませんから、私国立中学入試や高校入試、大学入試など、いわゆる一般的な入試と、公立中高一貫校入試はまったく同じということになります。

ただし、このように言うと、「それはウソだ」というご指摘を頂くことがあります。たとえば、公立中高一貫校入試でごみ問題について問われたとして、「これについてどう思うか」という問いがある。これはまさに、受験生の考えそのものを問うているのではないかと。

しかし、それは本当でしょうか。たとえば、「ごみ問題など存在しない。ごみはどんどん出すべきだ」と答える受験生が果たしているでしょうか。それは皆無です。全員が「…に取り組むなどして、ごみの減量に努めるべきだ」と書くにきまっています。…の具体的な取り組みに差異が表れるだけであって、かといって、この取り組みが無限にあるわけでもないのです。

公立中高一貫校対策の要諦は、この事実を確認するところからはじまります。

次回も引き続き、この問題を考えていきます。